



石巻市博物館 第13回企画展

宮城に生きる民俗 —宮城の漁業—

Well-Being in Miyagi

[第13回企画展]

宮城に生きる民俗 宮城の漁業

2025|10|25^{SAT}—12|14^{SUN}

開館時間：午前9時—午後5時(最終入場は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日/ただし、祝日・振替休日の場合は翌日休館

ISHINOMAKI CITY MUSEUM 石巻市博物館

Well-Being in Miyagi

Well-Being in Miyagi

主催
石巻市博物館
協力
宮城県民俗担当職員協議会
(宮城民俗コムス)
後援
tbc東北放送
三ツギテレビ
khh 東日本放送
仙台放送
NHK 仙台放送局
河北新報社
三陸河北新報社(石巻かほく)
石巻日日新聞社
ラジオ石巻FM76.4
一般社団法人石巻観光協会
一般社団法人石巻園観光推進機構

宮城県は、県中央部に突き出た牡鹿半島を境に、北は海的作用によって複雑に入り組んできたリアス海岸を、南は平たんな砂浜海岸が仙台湾を形成し、沖合では親潮と黒潮がぶつかる世界三大漁場に数えられる資源豊富な海を有しています。143の漁港と9カ所の水産物産地卸売市場があり、国内屈指の水産県です。

本展覧会では、石巻地域を中心に県内の漁業に焦点を当て、海のめぐみを受け、海と共に暮らしてきた人びとの生活の営みを紹介します。

また、今回は「宮城に生きる民俗」という共通テーマのもと、県内7会場で展示を行います。それぞれの会場で、多種多様な風土に根ざし営まれてきた暮らしや文化を紹介します。



第13回企画展 宮城に生きる民俗 —宮城の漁業—

とき 12月14日(日)まで ところ 企画展示室 料金 一般 600円 高校生 300円 小中学生 200円
※常設展も観覧できます

関連イベント

講演会「宮城の民俗1974-2025」

とき 11月22日(土)午後1時30分～3時
ところ マルホンまきあーとテラス 小ホール
講師 東北歴史博物館 研究員 今井 雅之
定員 300人(先着)

ギャラリートーク

とき 12月14日(日)午後2時
ところ 企画展示室



ナマコ採り 海底をさらいナマコを採る



烏賊釣り具と烏賊角 イカを釣る秘密道具



捕鯨鉈 クジラ目がけて投げ込む

同時期開催展覧会

県内7会場で開催されている展覧会を回り、各館に設置されているスタンプを3種類集めると、記念品を受け取ることができます。

宮城に生きる民俗

―暮らしを伝えるモノ語り―

とき 12月21日(日)まで

ところ 東北歴史博物館

宮城に生きる民俗

―自治体史と暮らしの記録―

とき 12月21日(日)まで

ところ 名取市歴史民俗資料館

宮城に生きる民俗

―多賀城海軍工廠と地域の変化―

とき 12月21日(日)まで

ところ 多賀城市埋蔵文化財調査センター

宮城に生きる民俗

―カマ神さまと民俗―

とき 12月21日(日)まで

ところ 大崎市図書館

宮城に生きる民俗

―仙南の暮らしと道具―

とき 12月21日(日)まで

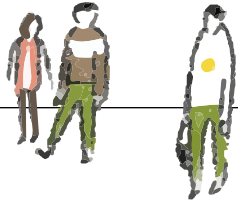
ところ しばたの郷土館

宮城に生きる民俗

―大崎・松山のカマガミ―

とき 令和8年2月22日(日)まで

ところ 松山ふるさと歴史館



施設情報



〒986-0032 開成1番8号 マルホンまきあーとテラス内
☎98-4831

開館時間 午前9時～午後5時(最終入館 午後4時30分)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始
観覧料 常設展
一般300円 高校生200円 小中学生100円
※20人以上の団体は2割引き

アクセス

公共交通(JR石巻駅から)
バス
宮城交通バス石巻駅1番乗り場
石巻専修大学線乗車
総合運動公園(石巻)下車 徒歩約2分
車 三陸自動車道 石巻女川ICより約5分